

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和4年9月2日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回次

3日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	八代市	代表者名	市長 中村 博生
担当者部署	デジタル推進課	連絡先電話番号	0965-33-4103
担当者役職	主事	担当者氏名	乙吉 菜緒子
		連絡先E-mail	
住所	866-8601 熊本県八代市松江城町1-25		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	DXの必要性と、管理職が果たさなければいけない役割について、事例も交えて力強くお話しいただいた。前回研修（課長、課長補佐、係長対象）と大筋は同じ内容でも意識すべき事柄やその役割について、立場に応じて必要な内容を明確にお話しいただいた。
アドバイザーへの要望事項	引き続きよろしくお願ひいたします。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（応募依頼より）	支援内容（応募依頼より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和4年8月9日	講演	有	令和4年7月20日	148
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和4年8月29日	講演	14時30分	16時30分	0
				活動時間（分）	120

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	八代市職員（部長、次長、支所長）	35人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	本市では、行政事務や地域課題の解決に向けてICTの効率的・効果的な活用や地域における情報化施策の推進を図るため、八代市デジタル化推進基本計画を策定し、計画推進のためにデジタル化推進本部（本部会議・幹事会・戦略会議）の体制及び最高デジタル責任者（CDO）やDX推進員の職を設置している。 その中で、デジタル技術を取り入れることへの必要性等の基礎的な知識が全庁的に根付いているとは言えない状況であり、知識を深める機会が必要である。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	全庁的なデジタル意識改革 DXの必要性を実感し、それぞれの部署・役割において今後どのようなDXを行っていくか、考える。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	環境や時代の変化に柔軟に対応し、新しい八代市の在り方を考える必要があり、それにはDXが欠かす事が出来ないもので、本研修対象の管理職が果たす役割は大きいということ、職場におけるウェルビーイング達成のため、ITに限らずマネジメントの変革が大切であること、地域のDXを進めるためには、自治体が変わらなければならないといった内容について具体例を交えて講演していただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容	自治体DXについての知識を深めるとともに、強い意志を持って取り組まなければ自治体DXは実現できないという意識を共有することができた	

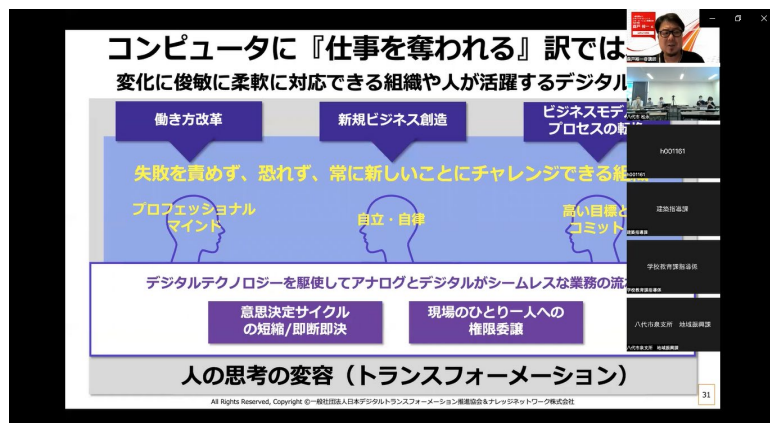
(具体的にご記入下さい)	こまごま意識改革をすすめていこう。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	意識改革の次の段階として、どう行動していくか検討していく必要がある。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート内容：研修を受講して、自治体のDXに関して今後どのように取り組もうと考えますか？ 回答：「DXとICTは違う事」「地域最大の職場である市役所が変わらなければDXは進まない事」が理解できた。技術的な部分は担当者に任せ、管理監督者としては、どのようなDXの施策が地域や市	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	職階に応じた役割を果たす。部長・次長・支所長：横断的な視点からデジタル施策・事業の提言や支援、デジタル化施策の評価・調整、部内のDXの推進 課長・課長補佐・係長：所属職員のDX人材としての育成・指導、部署内の情報資産の管理・監督、デジタル技術を活用した施策の立案	

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認ください。
なお、<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。





DX時代に求められる新たな価値創出
自治体DX 事例



デジタル化の進展により大きな活躍が期待される地域資源
DXの推進と地域課題の解決



自治体のDXを考える3つの視点
自治体DXの進め方